

市街地活性化特別委員会議録

日 時 平成26年1月20日(月) 午前10時

場 所 第一委員会室

協議事項

- 1 北部地域の拠点(広丘駅周辺地区)のまちづくりについて
- 2 その他

出席委員

委員長	牧野	直樹	君	副委員長	丸山	寿子	君
委員	五味	東条	君	委員	山口	恵子	君
委員	金田	興一	君	委員	永井	泰仁	君
委員	森川	雄三	君	委員	中原	巳年男	君
委員	柴田	博	君	委員	永田	公由	君
委員	中原	輝明	君				

欠席委員

なし

説明のため出席した理事者・職員

建設部長	藤森	茂樹	君	まちづくり推進課長	大和	晃敏	君
市街地活性化係長	明間	健一	君				

議会事務局職員

庶務係長	小澤	秀美	君	庶務係事務員	高津	彬	君
------	----	----	---	--------	----	---	---

午前 9時57分 開会

委員長 おはようございます。定刻より若干早いですが、全員おそろいですんで、これより始めさせていただきます。お寒い中、早朝より大変御苦労さまです。

それでは、市街地活性化特別委員会を開会をいたします。理事者の出席はございません。部長さんいますんで、部長さん、御挨拶ありましたらお願いをちょっと。

部長挨拶

建設部長 おはようございます。理事者がほかの会議等ございまして申しわけございませんが、本日はお忙しいところ、市街地活性化特別委員会お開きいただきましてありがとうございます。北部地域の拠点ということで広丘駅周辺のまちづくりについて、既に23年度から地区の勉強会や意見交換会等を実施をしておいて、

それがまとまりまして今年度当初からですね、事務レベル等でいろいろな検討をしまいいりました。それを少し、一定の方向性ができてまいいりましたので、これから塩尻の第五次の総合計画を策定してまいいりますので、その中の位置づけも含めまして計画をしていきたいと、こういうことでございますので、きょう、初めてでございますけれども、基本方針及び基本計画の素案的なものをお示しさせていただきますまして御協議をいただきたいということでございますので、よろしく願いをいたします。以上でございます。

委員長 ありがとうございます。それでは協議に入りたいと思います。時間の関係上、説明は簡潔をお願いをいたします。

1 北部地域の拠点（広丘駅周辺地区）のまちづくりについて

委員長 それでは協議事項1、北部地域の拠点（広丘駅周辺地区）のまちづくりについて説明を求めます。

まちづくり推進課長 それでは、私のほうから資料に基づきまして説明をさせていただきたいと思います。お手元の資料をごらんいただきたいと思います。北部地域の拠点（広丘駅周辺地区）のまちづくりについてということでもよろしく願いをいたします。

まず、趣旨ということもございますけれども、広丘地区のまちづくりにつきましては、地元の皆さんといろいろ過去2年間検討をしまいいりました。市として北部地域の拠点であるということで、広丘駅周辺地区のまちづくりを進めていくに当たりまして、本年度、広丘駅周辺地区の市街地総合再生計画（案）を作成しているところでございます。その中のその基本方針並びに基本計画の素案の、ある程度方向性がまとまりましたので、それを説明をさせていただいて御意見をいただきたいというものでございます。

2番の主な経過ということもございますけれども、これにつきましては地元のほうで2年間検討をされてきた経過でございます。平成23年度につきましては、広丘まちづくり勉強会、意見交換会の開催をしております。その中で広丘地区における課題・問題点の整理、解決のための方策検討をしまいいりました。

平成24年度につきましては、まちづくり報告会、23年度の検討内容を地元の中で報告会を開いてございます。また、組織づくりということで、広丘まちづくり会議を設置しました。地元のほうで広丘地区地域づくり振興会っていうのがありますが、これは広丘の区長の皆さん、それから市議会の皆さん、それから商工会長、公民館長ほか各種団体の長でできてる組織なんですが、そちらの皆様ほとんどメンバーは変わらないんですが、メンバーを母体としてですね、協議の場ということで広丘まちづくり会議を設置してございます。あわせてワーキンググループ13名を設置をさせてもらって、いろいろ検討する場を設けさせていただきました。それから24年度におきましては、広く広丘の皆様方から地区のまちづくりに対しての要望、課題等をお聞きしたいということでアンケート調査を実施しました。住民を対象にしたもの、また広丘支所を利用している団体を対象にして行ってきております。

今年度、平成25年度につきましては、4月、5月、広丘地区の区長会の中でいろいろ経過、勉強会をさせていただきました。7月には行政懇談会がありまして、その中で広丘地区として広丘公民館（支所）の再生整備の具体化についての提案・要望等がありました。9月につきましては市民タイムスのほうに記事が載りましたが、広丘支所建てかえということで、敷地を拡張して市の北部の拠点施設として整備をするという記事が載っております。それから10月には第1回の広丘まちづくり会議、それから11月になりますけれども、広丘地区地域

づくり振興会、これ、地元だけの組織なんです、そちらのほうで広丘公民館・支所の建てかえに対する提案ということで、北部地域の拠点施設としての視点で意見・提案・要望等をそれぞれ抽出をさせていただきます。その抽出結果に基づきまして、12月の24日になるんですが、広丘支所・公民館の再生整備に関する要望書が市長を通して市のほうに提出をさせていただきます。同じく12月23日になるんですが、庁内においてもですね、この広丘駅の周辺整備に当たりまして検討チーム、若手を中心として検討チームを組織しました。その検討チームの中で、今後、広丘駅周辺、広丘支所の建てかえ等に対する検討をしていくところでございます。それから1月、先日ですけれども広丘地区の地域づくり振興会、それからワーキンググループの合同会議を開きました。その中で、きょうお示ししてる基本方針及び基本計画の素案を説明をさせていただいたところでございます。

3番の内容でございます。広丘駅周辺地区整備に向けた基本的な考え方ということで広丘駅周辺の位置づけ、広丘地区のまちづくりの検討経緯、基本方針及び基本計画(素案)優先的に取り組むプロジェクト(北部地域の拠点施設)ということで、別紙の1の資料になりますけれども、こちらのほうをごらんいただいて、こちらのほうで説明をさせていただきたいと思っております。

まず1番の広丘駅周辺の位置づけということでございます。これは市の上位計画の中で位置づけされている部分でございますが、まず現状と課題ということでございます。広丘駅舎の改築も終わりました。また、東西の駅前広場、駅周辺都市計画道路の整備、土地区画整理事業などによる良好な住宅地の供給、商業・工業施設の集積が進んで人口が大変増加している地区ということで、市の北部地域の拠点として広丘駅周辺のさらなる魅力づくりが求められているという現状と課題が挙げられております。それから(2)ということで、広丘駅周辺の整備構想でございます。今現在の既存の都市資源、公共施設を十分活用して北部地域の拠点としての都市機能の向上を図って、北部地域における生活の中心となる場所としての整備を進めるという整備構想が打ち立てられております。

2番、地元における広丘地区のまちづくりの検討経緯ということでございます。先ほど、いろいろ会議等につきましては経過を説明をさせていただきました。そんな中で、この広丘地区にとって、まず何が一番大事なのかという点でございます。いろいろな環境、都市基盤等は整備されてですね、大変人口もですね、増加傾向にあります。しかしながらその反面、新たな居住者の流入もあって地域アイデンティティが希薄化していると。その表れとしてまちづくり活動へ参加する人がですね、固定化・高齢化をし、市とのかかわりが少なくなっていることが1つの地区としての大きな課題となっているということでございます。それから(2)対策の検討でございます。住民を対象としたアンケート調査を実施しました。その結果ですね、あと、まちづくり会議、ワーキンググループからの意見・要望等をお聞きする中で、まちづくりや地域のコミュニティ活動の拠点となっている現在の広丘公民館(支所)に対する期待が大きいということで地区の中では確認をされております。あと、目標・方針ということでございます。地域コミュニティの活性化を図っていくことが現在の広丘駅周辺の最重点課題であるという認識の中で、コミュニティの活性化に資する場の創出が地域活性化の牽引力を果たす上で重要な施設であるということで、広丘公民館の再生整備につきましては、広丘地区のまちづくりの一翼を担う施設として地区として捉えているということでございます。

それから3番の基本方針及び基本計画の素案ということで、お手元の資料の別紙2-1から2-3、カラー版のA3サイズの資料でございます。こちらのほうをごらんをいただきながら説明をさせていただきますのでよろ

しくお願いをしたいと思います。

まず別紙2 - 1でございます。上位計画の整理、広丘地区の位置づけということで、先ほどもちょっと簡単に説明をさせていただきましたけども、第四次総合計画後期基本計画の中では、広丘地区につきましては市街地のにぎわいをつくっていく。主な事業として、1塩尻駅広丘駅周辺のにぎわいの創出を図っていくという形で推進施策がうたわれております。それから塩尻市都市計画マスタープランでございます。この中で将来の都市構造ということで、広丘駅周辺を拠点として既存の公共施設を活用したまちづくりの推進や都市機能の集約、環境負荷の低減が図れるコンパクトな都市構造を目指すという形でうたわれております。それから土地利用の方針ということでございますけども、拠点の機能向上に向けた土地利用の誘導を図るということで広丘駅周辺の拠点機能の向上という形に方針が立ててございます。それから広丘地区全体のまちづくりの目標ということで3点、1つは交通の利便性を生かした都市拠点としてにぎわいのあるまちづくり。2番、安全・安心で快適に暮らせる生活利便性の高いまちづくり。3番、住民主体による美しいまちづくり等目標を掲げてですね、それぞれ進めてきているということでございます。

右側のほうのページになりますけども、上の部分が広丘地区の現状でございます。7点ほど掲げてありますけども、人口が市内の中で広丘地区が一番多いということで、広丘駅も年々増加傾向にあるということでございます。それから広丘駅については、既に駅の橋上化、自由通路、それから広場が整備が完了をしている現状です。それから広丘駅周辺は、小学校とか支所等公共施設も集まっているという場所であるということ。それから国道19号については、道路改良拡幅事業が実施されており、その沿道においては大型商業施設やロードサイドショップ等が立地をしているということ。それから広丘駅南地区や広丘駅東第一・第二地区等、土地区画整理事業が完了をしてきているということ。それから県道塩尻鍋割穂高線の道路改良、これは広丘駅の西口のほうの県道になりますけども、そちらのほうの拡幅、電柱地中化等の道路整備。これは広丘商店街を中心のメイン通りの県道でございます。そちらのほう整備が完了をしているという状況です。それから広丘駅東側にはエプソンを代表とする世界的な企業、工業系の施設が集積をした工業団地があるという、そういった立地になっているという現状でございます。

それから、下のほうが広丘地区の課題ということで6点ほど掲げてございますけども、広丘支所は建物が老朽化してきていて施設規模も不足をしている状況になっているということです。それから国道19号沿道のロードサイドは、立地をしている半面、未利用地もまだ目立ってきているという状況になっているということです。それから、広丘駅西口、広丘商店街のところにつきましては整備は終わってますが、にぎわい創出という点では、まだ効果がなされていないという点。それから県道鍋割穂高線、この沿線においても低・未利用地があるということで、そういった老朽化した商店も存在をしているという状況。それから広丘駅の南西部の密集市街地においては、狭隘道路等がまだあってですね、安全性・防災性の面で課題が残っているという状況です。それから郷原宿、短歌館というですね、知的地域資源があるんですが、それがなかなかまだ生かし切れていないという、1つの広丘地区としての課題が掲げられております。

お手元の資料の今度は別紙2 - 2のほうになります。北部地域拠点整備の基本方針ということで、まちづくりの目標と方向性のあくまでも素案の段階ですが、示させていただきました。まちの将来像ということで素案ですけども、郷原の郷原宿景観、それから短歌館という地域と歴史と文化が息づいたまち、心から豊かさを実感でき

るまちというのを1つの将来像としてうたってございます。それから左のほう、目指すべきまちづくりということで目標になるんですが、まず1つは、歩いて回遊できるまちを目指していったらどうかということです。街中の回遊者をふやしていく、それからそこで過ごせる時間、滞留時間をふやしていくということで掲げてあります。それから2点目、住み続けたいなるまち、訪れたいなるまちというものを目標に掲げてございます。子育て、福祉の充実、生活利便性の向上、安心、安全な社会基盤等を確保していくといった、そういった目標を掲げてございます。それから目標に対する設定ということで、まずは居住者の評価ということで、当然、まちづくりを進めた後の目標設定になるんですが、まずはそこに住んでおられる方々が満足できるようなまちを目指していきたいということで目標設定に掲げてございます。それから数値的な目標になるんですけども、そのまちなかの回遊性を目指すということで掲げてありますので、その歩行者の通行量を目標としてございますし、また広丘駅の東口、パーク&ライドの駐車場も計画をしておりますので、そちらのほうの利用状況、それから広丘支所・公民館の再生ということで、その拠点施設となる施設の利用率、それから利用者数を数値的な目標と掲げていきたいというふうに考えているところでございます。

それから右側のほう、まちづくりの方向性、素案でございますけども、塩尻市の北部に広がる生活と文化、そのかなめとしての広丘のまちづくりということで示させていただきました。そちらのほうに扇の扇子をですね、このような形でまちの姿をですね、表現をさせていただいたものでございます。歴史、交通、住居、商業等さまざまな要素でまちはできているということの中で、そのかなめとなるのが広丘駅周辺であり、北部生活圏のかなめとして広丘駅周辺を位置づけていきたいという内容になっております。

それから右側のほうでございます。まちづくりの全体像、それから下のほう、まちづくりの進め方でございますが、広丘のまちづくりの進め方でございます。3点ほど挙げてあります。北部地域拠点としての広丘駅周辺の拠点性の強化を図っていくこと。それから2点目、地域のにぎわいと魅力の発展をしていくと。それから3点目、地域生活者の誇りと愛着の礎となる各都市施設や機能のネットワーク化を図っていくことをまちづくりの進め方ということで掲げてございます。

下段のほうでございます。まず1点目、北部地域の拠点としての強化ということでございます。まず1つは、交通の拠点の強化を図っていきたいということでございます。広丘駅東口になるんですが、広場の南側のところをパーク&ライドの駐車場として整備をし、鉄道利用の利便性の向上、それから、通勤・通学者だけでなく、北部の生活者、来街者の利用等を図り、拠点性の強化を行っていくものでございます。それから右、その隣になるんですが、もう2点目、広丘支所の整備ということで、北部地域の拠点としての強化を図ってきたいということでございます。安全・安心な施設を目指し、北部地域の拠点施設として地域の特性を生かした機能拡充を図り、利用者の利便性の向上と災害時の避難施設としても機能するような施設整備を行ってきたいということで掲げさせていただきました。その支所の建てかえに当たっての機能でございますけども、コミュニティ活動ができる場所とか、軽運動ができる施設とか、地域に情報発信、そのような機能を整備をしていくということで考えていけたらということでございます。

それから、その2点目の地域のにぎわいと魅力の発展ということの進め方に対してでございますが、1つは商店街の活性化、広丘商店街を活性化をしてこうという内容でございます。駅前通りについても、先ほども申し上げましたけども、道路整備等は済んでおりますけども、商業機能の集積地として、今後、魅力の増進を図ってい

きたいというものでございます。それから、その商店街のメイン道路に入って来る県道がございます。そちらのほう、この図面で言えば緑で塗られてる点線部分でございますが、そちらのほう県道、歩道等の環境が整備されてませんので、そういった歩道環境をですね、整備しながら交通環境としての機能増進を図っていきたいということでございます。また、その沿線についても未利用地等がございますので、土地の共同化等によつての重点的な整備を促すような取り組みを今後、検討していきたいというふうに考えております。

それから3点目、地域生活者の誇りと愛着の礎となる各都市施設や機能のネットワーク化ということでございます。まず1点目は、地域の宝物を生かしたまちづくりを進めていったらどうかということでございます。当然、広丘、短歌のまちという1つのコンセプトもございますので、そういった短歌のまち広丘というものを、新たな魅力の創出という形で進めていきたいということでございます。それから広丘地区、この駅周辺の中には大変、スイーツのお店も幾つかございます。それから新たなお宝等もございますが、そういったものをですね、ぜひ市の魅力として定着化に向けて進めていったらどうかということでございます。それと、地元の工業地として企業が集積をしておりますので、そんな企業との連携を図ったまちづくりも進めていきたいというふうな内容でございます。それから2つ目、人づくり・組織づくりということでございます。広丘地区、大変人口がふえております。大変若い世代ですね、家族の世帯が新しく入ってきてるといふこともありまして、そんな中で地域の特性を生かしたこういった人づくりから組織づくりといったものを、新しくできる拠点施設等をですね、使った形で、後々そういった将来のまちづくりのサポーターとなってくれるような、そういった方向に向けてですね、そういった仕組みが構築できたらいいかなという形で計画をさせていただきましたので、よろしくお願いをしたいと思います。

それで、次のほうの資料になります。別紙2 - 3になりますけども、広丘駅周辺地区の先ほどの方針に基づいた基本計画の素案でございます。広丘駅周辺地区ということで、その中で重点整備地区ということで設定をさせていただいてございます。その図面の中の、大変わかりずらくて申しわけないんですが、ちょっと周辺をですね、黒い一点鎖線で囲んである部分でございます。そちらのほうを広丘駅の重点整備地区という形で、面積的には約12ヘクタールになりますけども、そちらのほうを3つのゾーンを設定させていただきました。拠点強化ゾーン、それから商業・にぎわいゾーン、それから暮らし・安心ゾーンという形で、それぞれ色分けをしてですね、点線で囲んだ形で示させていただきました。

まず基本計画ですが、1点目、拠点強化ゾーンでの整備の目標、方向性でございます。右側のほうの欄になりますけども、まず1点目としては、交通の機能強化を図っていきたいということで、東口のパーク&ライド駐車場の整備でございます。これにつきましては来年度、駐車場の整備、それから駐輪場も大分不足してますので、あわせて駐輪場の拡張整備もですね、来年度計画をさせていただいてございます。それから2点目ということで、北部拠点のかなめとしての広丘支所の整備ということでございます。行政サービス拠点としての環境強化を行っていくということで、広丘公民館の再生ということでございます。地域コミュニティの交流の拠点の整備、それから健康増進の機能整備、それから情報発信の場の整備という形で目標と方向性を示させていただいたものでございます。

それからその駅、それから拠点施設となる広丘支所の再生、そういったところから、この広丘のコンセプトである短歌館へ向かうですね、歩行者の動線を確保していきたいということで、この図面のちょうど中心の上のほう

うに描いてありますけども、紫の矢印になります。点線の矢印になりますが、短歌の小路（ゲート）整備ということで、整備をしていきたいという計画でございます。駅と拠点施設を結ぶアプローチとしての歩行者動線の整備をしていきたいということで、短歌館へ抜ける小路の入り口としての整備ということで、拠点施設となる周辺の一体的な整備を図ってきたいというものでございます。

それから次のゾーンということで、商業・にぎわいゾーンになります。こちらは商店街の活性化に向けた形での整備になるんですが、資料の左側のほうの下の部分になります。道路整備のほうは既に完了をしているということで、広丘地区のにぎわいの中心となるゾーンである一方、なかなかにぎわいができてないという課題がございます。そんな中でソフト事業を展開としてですね、既存のイベント等の活性化や連携を図った集客力の向上を目指していきたいということと、今後ですね、建てかえがあれば共同化等も図りながら、商業の集積地としての機能と魅力の進展を図ってきたいという目標と方向性をさせていただきました。

それから、次に暮らし・安心ゾーンということで緑で囲んである部分の点線でございます。旧松電跡地の部分がちょっと表に出てはいるんですけども、それも含めてですね、この沿線の未利用地等を利用してですね、共同化事業によって住環境、それから商業環境、あと緑地等のオープンスペース等も整備しながら、新たな広丘地区としての魅力ある空間整備に向けて、環境や景観の向上を目指していきたいという計画をさせていただいております。それから、同じくそのゾーンの中には緑で点線で矢印で示してある部分がございます。これは商店街へ通ずるですね、国道から入って来れる動線になるんですが、そちらのほうの沿道整備ということで、歩行者の、ここ歩道がないもんですから、歩行環境を整備しながら交通環境を整えていきたいという計画でございますので、よろしく願いをしたいと思っております。

それでは資料のほうなんですが、お手元の資料の別紙1、基本的な考え方の資料のほうに戻っていただきたいというふうに思います。別紙1の資料になります。4番の優先的に取り組むプロジェクトということで、北部地域の拠点施設ということでありまして。先ほどの基本方針、基本計画に基づいてですね、優先的に取り組むプロジェクトということで、市として基本的な考え方を示させていただきました。

まず（1）ということで基本的な考え方。まず1点目は北部地域の拠点として位置づけられている広丘駅周辺地区を重点整備地区として整備をしていくということで、先ほど図面の中の一点鎖線で囲んである部分を示してございます。それから2点目、広丘駅周辺のまちづくりの展開において老朽化、機能不足に課題を抱える広丘公民館（支所）の再生整備は、最優先で取り組む必要があるということです。それから3点目、その支所の再生整備、建てかえ場所につきましては、アクセス、駅に一番近いということ、それから連携、ここは商店街とか企業とか、あとJA等の連携、それから視認性、これは都市計画道路沿いで現在あるということ、そういったことに考慮してですね、現在の敷地を活用し周辺敷地を含めた一体的な取り組みによる効果的な整備がふさわしいという考え方でございます。それから4点目、現機能に配慮して、さらなる機能の拡充と北部地域の拠点とした公共施設、駐車場、商業及び住宅機能等、複合的な施設整備を検討をしていきたいという基本的な考え方でございます。

それから（2）ということで、新たに導入可能な公共施設候補の検討ということでございます。広丘公民館の支所の再生はもちろんのこと、そのほか北部地域として必要な公共施設、そういった集約化・複合化をあわせて検討をして施設整備、拠点施設の施設整備を図ってきたいという考え方でございますので、よろしく願いした

いと思います。

それでは一番最初ですね、資料の裏にあります4番、当面の予定ということでございます。今年度平成25年度でございますけども、現在、広丘駅周辺地区の市街地総合再生計画(案)の策定に向けて進めさせていただいています。きょう本市の基本計画を御説明をさせていただきましたので、より意見をいただけてですね、修正を加えて素案から案の段階まで策定に向けて進めていきたいというものでございます。それから拠点施設導入機能の整理ということでございます。北部地域の拠点となる施設でございますので、公共施設の集約化、複合化、そういった導入機能の整理をしていきたいということです。それから拠点施設の基本構想(素案)の作成ということで、そういった導入機能がある程度整理された段階で拠点施設としての基本的な構想の素案をつくり上げていきたいということです。それから、事業手法及び事業化のスケジュール等を確認をさせていただきたいということで、それによって平成26年度につきましては、地権者意向把握・調整ということで、現在の敷地の周辺の地権者の方々ともお話をさせていただいて、まずその辺を意向把握、それから調整等を十分にさせていただきたいということです。あと権利状況の整理、それから地権者の、この事業の進めるに当たっての勉強会をさせていただいて、地権者方の御理解を得た上で進めていきたいというものでございます。それから基本計画の作成ということで、拠点施設となる場所の導入する機能、それから施設の建築の設計計画、それから資金計画、それからスケジュール等の具体的な検討を来年度から進めていきたいというものでございますので、よろしくお願いをしたいと思います。一通り私のほうから説明をさせていただきました。御意見等、よろしくお願いをしたいと思います。以上です。

委員長 ありがとうございます。それでは、広丘駅周辺地区市街地総合再生計画(案)の中の基本方針及び基本計画素案を中心に説明を受けました。説明があった部分について質問がありましたら、お願いをいたします。

中原巳年男委員 この中に短歌館とそれから郷原宿という言葉が出てきますけれども、郷原宿の生かし方ってどういう形で生かしていく予定なのか、もしあれば。それと、あそこの道路が非常に狭いんですね。交通量が多くて子どもたちも歩道部分はある程度確保されているけれども、あそこを拡幅するとしたら郷原宿の建物、そういうものがどういうふうになっていくのか。それと、大体ああいう宿場の途中のところに休憩できるような場所があるんですね、ちょっとした軽食とれるとか。そういうようなものも含めて郷原宿の生かし方っていのを考えていくのかどうか、いかがでしょうか。

まちづくり推進課長 この2年間、広丘地区でいろいろまちづくりの勉強させていただき検討してきました。その中で、広丘地区全体で考えたまちづくりなものですから、当然広丘地区にあるそういった資源、郷原宿、郷原街道そういった景観をですね、今後もですね、まちづくりの中で大事にしていきたいというのは、地域の中でもそういった意見がございます。今回の重点整備区域の中にはないんですが、広丘全体で捉えたですね、まちづくりでは、地元としても郷原街道というものをですね、やはり大事にしていきたいということでございますので、県道の拡幅というお話もありましたけれども、東幹線という整備のそういった計画もございまして、そちら等との絡みもありますので、まずそちらのほうを優先的になろうかと思うんですが、そういった将来的な目標としては、現道を維持しながらですね、歩行者の安全となる県道に導くような考え方をですね、地域としてもまた市としても今後検討していきたいというふうことになるかというふうにご検討しております。

それとあと、当然休憩ができる場所もあるでしょうし、歩道が狭いという御意見等いただきましたので、それ

は広丘地域の皆さんとですね、もう一度全体のまちづくりとしては今後も検討を続けていきたいというふうに考えています。きょうお示したところは、広丘駅、北部の拠点となる場所広丘駅周辺をですね、主に重点的に整備をしていきたいということで、その中の基本方針、基本計画ということでお示して御意見をいただきたいということでございますけれども、広丘の全体としては、先ほども委員のほうからありましたとおりの郷原宿それから短歌館も含めてですね、うまく連携、広丘駅周辺と連携をとれるような形での検討はしていきたいというふうに思っています。

委員長 よろしいですか。ほかにありますか。

永田公由委員 ここに優先的に取り組むプロジェクトとして支所の建てかえということが出ているんですけども、その事業費としてね、大体市のやる場合、枠はある程度決めてないと、際限なく金が使えらるわけじゃないのでね。ここにあるように、いわゆる公共施設の集約化とか複合化だとか、こういったものも含めてやった場合、具体的に大体どのくらいの事業費を見込んで見ているのか。それと、年度とすれば26年度に基本計画をやりたいということになれば、27、28年くらいで建設というような形になると思うんだけど、その辺については大まかなところでは大体出てると思うんですけども、どの辺まで地元要望の中でできるのかといった、そこら辺はどうですか。

建設部長 全体の財政のお話がございましたので、私のほうからちょっとお答えいたします。まだですね、どんな作業をしてきたかっていうことをちょっと説明しないといけないもんですから。これから施設の複合化とかそういうことも地域に基づいて検討していきます。もう1個は周辺の敷地の問題がございます。今の支所のところだけでは地元の皆さんの要望はとてまかなえられないだろうということで、その周辺の地権者の方にここ2年くらいですけども、ずっとヒアリングをかけてきまして、協力できていただけの方とかそういうのがある程度目安がついたもんですから、ここを拠点としてここを強化するっていうことについて方針を立てさせていただいたんですけども。そういう2つのあれがございまして、今現在ではですね、まだ具体的な数字っていうのは実は出ておりません。今、委員さんがおっしゃったように、大枠で幾らというということについてまだ市のいわゆる財政計画上の10年計画みたいのを立てますけれども、そういうのに厳密な形ではまだ計上されてきてはいないと。ただ、何て言うんですかね、大体このくらいだみたいなことは、本当にいわゆる財政のシミュレーションをする場合の方はやってはられるんですけども、それは下から積み上げてきたものではないということでございます。1つは敷地の制限があるということで、もう1つは本当に集約化することがふさわしいのか、あるいは今現在ほかにあるのをここに持っていくのがいいのか、またその、今あるところにそのまま置くのがいいのかと、そういうことを全部これからちょっとやっていかなきゃいけないもんですから、それについてはちょっと積み上げ作業等を今本当に入ったばかりでございますので、ちょっとどのくらいの規模とか、そういうことはちょっとなかなかまだ言える段階ではないということでございますので、御了承お願いいたします。

永田公由委員 ということは、あくまでも全体的にこういう形で進めていきたいという段階だということだね、今の段階では。

建設部長 そうです。

永田公由委員 例えばね、今まで協議する中で、地元としてね、この複合化施設等に対する何か入れてくれ、こういうものをつくってほしいというような要望っていうものは、地元からは具体的なものは出てきているわけ

ですか。

まちづくり推進課長 お手元の資料1枚目の、去年の12月になるんですが、その中で広丘支所・公民館の再生整備に関する要望書の提出ということで、地元の地区振興会のほうから市のほうに上がってきております。この中に広丘支所の建てかえに当たったのですね、こういった機能を入れてほしいとか、あとこの駅周辺の整備に当たってですね、こういったことを改良してほしいとか、そういったものも含めて要望は上がってきております。

永田公由委員 具体的にはこれからだと思うんでしっかり詰めていただきたいと思いますが、もう1つね、その短歌の道を駅から整備をしていくということなんだけども、広丘駅を利用して、いわゆる公共JRを利用して広丘の駅でおりて短歌館へ行く方が何人いるのかということは把握されてるわけですか。

まちづくり推進課長 数字的なものは把握しておりません。しっかり数えてあるわけではないんですが、当然そういった外から広丘駅でおりて短歌館を見に行く人たちの動線というかその経路をですね、安全な形で導くための整備を、またわかりやすく整備をしていきたいという形で、今回この歩行者の短歌の小路という形での整備計画を挙げさせていただいてあるものでございます。

永田公由委員 そうするとね、この広丘の商店街のね、にぎわいの創出とこれは、いわゆるこっちへ道をつくっちゃうとせっかく来た人が商店街を通らなくてということで、商店主、商店街の人たちからは不平不満とかそういうものは出ていますか。

まちづくり推進課長 当然、拠点施設と商店街とが連携を図っていきたいというふうに思っています。拠点施設の中には情報発信という形で、これからの検討にもなるんですが、短歌についての情報も発信していかなくちゃいけないだろうし、それから短歌館へ行った人たちがまた駅のほうへ戻るに当たってですね、この商店街のほうへ迎えるような形、そういった動線的な形をとりながらですね、この駅周辺、全体的な連携の中で整備をしていきたいというふうには思っています。

柴田博委員 きょうのテーマになっている北部地域の拠点っていう意味で広丘駅周辺地区ということなんですけども、それが今の先ほどの説明では一点鎖線で囲まれた12ヘクタールの範囲を主にということのようなんですけれども、当面、例えば支所の建てかえとかパーク＆ライドの駐車場とか商店街の活性化とかということをやるという意味ではこれでいいのかなっていうふうに思うんですが、今まで言ってきた北部地域の拠点としてのまちづくりという意味では、さっきから出ているように、駅の周辺とそれからあとその周りに広がる郷原宿にしても短歌館にしてもそれからあと優良な住宅地にしても、そういうところまで全部含めた形で北部地域をどういうふうにもちづくり、どんなまちにしていくかっていうようなところまで考えていくことが最終的に必要になってくると思うんですけど、その辺のことってというのはこの計画の中にはとりあえずは入れないわけですか。駅周辺だけをとりあえずやるっていうそういう考え方。

まちづくり推進課長 重点整備地区は、その計画、目標等につきましてはですね、計画書の中にはここでうたってまいりますけれども、当然、広丘まちづくり全体の中の1つがこの駅周辺という計画、北部地域の拠点がここだよということでもありますので、当然ここだけじゃなくてその周辺もですね、含めた形をどうしていくのか、こういった課題と現状があって、これからこういった目標の中で将来的にどうしていくかっていうことを当然踏まえながらこの拠点というところをどう考えていくかっていうことになろうかと思っておりますので、それは計画書のほうの関連の部分という形の中では、計画書のほうにはちょっと、当然地元の皆さんも広丘まちづくりという形

でここだけじゃなくて周辺も含めたところの検討をしていただいていますので、そういったところも計画の中にはちょっと挙げていくような形の作成でいきたいと考えています。よろしいでしょうか。

柴田博委員 もう1点。広丘支所の建てかえに関連してですけども、今ある勤青ホーム、あれは今十分に活用されているかどうかという問題もあるけど、あの建物も含めた形で何て言うかな、全体的に考える必要があるんじゃないかというふうに思うんですけど、その辺についてはあまり話には出ていないわけですか。

まちづくり推進課長 勤青ホームの状況については皆さんも御存じだと思います。その勤青ホーム、今回のこの拠点の施設の中に公共施設の複合化も検討をしていくということになっていますので、当然その1つの候補としては勤青ホームの業務内容等も含めてですね、今後検討していきたいというふうに思っています。

柴田博委員 勤青ホームも含めた形で支所の機能をあわせ考えていくという、そういう、含まれているということですか。

まちづくり推進課長 検討する候補の施設としては考えていきたいと思っています。

柴田博委員 そうだね。いいです。

山口恵子委員 地元からはいろんな公共施設の集約化とか複合化というような要望があり、今後それは検討していくというお話のようですけれど、庁内の検討チームのちょっとメンバー構成をお聞きしたいと思います。その検討チームで検討していくっていうことですよ。

まちづくり推進課長 昨年の12月に庁内で若手を中心として検討チームをつくりました。その検討チームのメンバーですけども、先ほども申しあげました公共施設、北部地域の公共施設の集約化に向けた候補の施設に当たる担当をしている部署を中心としてチームを組まさせていただきました。当然この事業については財政面的な協力も得なきゃいけないということで財政課とか当然地域全体のですね、企画課のメンバーにも入っていただいています。そのほかにそのほかの公共施設の関係で多方面の部署のメンバーとなり、先ほどの財政課、企画課、あと防災機能の指定で消防防災課も入れております。あと商工課、これは勤青ホームの関係ですし、あとは都市計画課、建設課、あと図書館、それから子育て支援センター、それから社会教育課、これは短歌館とか、あと児童館の関係のこども課、あと広丘支所の方々から入れさせてもらっていますし、済みません、あと1人長寿課のほうからも1人メンバーに入れさせてもらって、そのチームの中でそういった複合集約できるのかどうかというそんな可能性についてですね、現状と課題と、じゃあこれからどうするのかという検討をしていきたいというふうに思っています。

山口恵子委員 その方たちの役職っていうか、係長なのか課長さんなのか、その辺はどんな状況ですか。それともう1点、広丘地域に住んでいらっしゃる方が入っているのかどうか、その辺はどう。役職上だけの構成なのか。

まちづくり推進課長 職はほとんどが係長と主査クラスの方々に入っていただきました。広丘在住かどうか、ちょっと確認してみないとわかりません。

山口恵子委員 わかりました。いいです。

五味東条委員 いわゆる、私、支所のことであれなんですけど、何年も何年もこれ研究しとってね、支所が古いからって建て直さなきゃいかんということで、もう何年もなるんですよ。今までの経過から言うと、ふれあいセンターにお風呂をつくるかつくらないかっていうような形で、やっとここで結論出たあれなんだけど、それも

今取り組むようになったと思っているんだけど、これは発表したからには要するに現在地につくるということがもう決定なわけですね、とも違います。

まちづくり推進課長 現在の敷地の場所を含めてですね、その周辺の地権者の方々とお話をさせてもらってほぼ9割方好意的な返事をいただいていますので、この場所周辺も含めてですね、この場所で整備をしていきたいというのが市の考え方でございます。

五味東条委員 いわゆる今の現在の、要するに拡張しなきゃいけないし、もちろん壊す力があるしね、その地権者広げなきゃいけないと思うし、駐車場のこともあるし、はっきり言って今の予算が幾らかっていう面も永田委員からの質問もまだわからないという状態だが、相当かかると思うんですね。その中には、聞く範囲ではそんなにかかるだったらほかの郊外的なものにね、土地もあればそこに持っていけばいいじゃないかっていう話もちらほら聞かれるわけなんですよ。だけど、そういうところはいわゆるつぶしてあるという考えでよろしいですか。

まちづくり推進課長 場所の設定については、今ある公民館を利用する方々からアンケートをとりながらですね、意見とか要望を出してもらいました。そんな中で今使っている施設の利用団体の衆は、とにかく今の場所がいいという意見がほとんどでした。そしてあと駅から近いと。それから、今ある支所が都市計画道路の角地で使いやすい、車の入りも使いやすいという、そういったところからまずそこをですね、中心として周辺の皆様方にお話をさせていただく中で大変好意的な返事等もいただいていますね、ある程度この計画の中の青く塗ってある部分の敷地をですね、整備をしていくという形でまとまりつつありますので、ここを設定をさせていただきたいということです。

五味東条委員 それにはね、相当の金もかかると思うんですね。だからその辺をちゃんと覚悟しておかないと、要はただ予算もまだ全然、今のところ具体的に立てていないというような形だと思うんだけど、恐らく相当の金がかかると思うし、またそういうような、例えばこの前の風呂じゃないけれどね、一旦そういうことで地区がまとまってまたその地区の会長からお風呂をつくってくれてというようなね、というようなことが出るという地域ですので、はっきり言うと。だからその辺をきちんとつぶしといて、もうここしかないんだと、ついてはどのくらいの予算がいるんだということはね、一応市である程度示した中でやっぱり計画的にやらなきゃまずいなと思っているんです。しかも私が一番希望するのは、そこにどのくらいまで広げるかわからないけども、確かに交通の便もいいし場所的にいいところなんですよ。ただしそこをやるということによって手狭な公民館ができてきたというような形になっちゃうとね、これはまずいなという感じはするんです。その辺の見通しはいかがですか。

建設部長 非常に御心配されているのはもっともでございます、これからいろんな公共施設のいわゆる集合について、統合についてもやってまいります。それから資金的なことも検討させていただくと。また敷地の部分も検討させていただいて、構想的なものの段階でですね、金額は少しまだアバウトかもしれないですが、そんなような状態のときにも、当然たたき台はたたき台としてやはりこの委員会のほうにお示しをさせていただいて御意見をいただくという手順をちょっととっていかないといけないと思っております。それは非常に大事なことでございまして、ここにどういう機能を入れ込むかということについての御判断、どれだけの資金がかかるかということ御判断、非常に大きな御判断になると思いますので、その辺はその計画が固まってからということでは

なくて構想のレベルですね、一度お出ししてもんでいただくと。議会のほうでもんでいただきまして、当然地元がございまして、そちらも同時並行で出させていただいていくということでございまして、その辺もちょっと丁寧にやっていかないといけないかなと思っております。よろしくお願いします。

五味東条委員 今の段階で地権者に話していく中でね、手狭のこんな公民館になったっていうような形にはならないでしょうね。ちょっと聞きたいと思う。

まちづくり推進課長 現在想定されるこの敷地の範囲で考えてはおるんですが、地元からもいろいろな要望が盛りだくさん上がってきています。そういった全ての要望をですね、お聞きできるかどうかっていうのは十分今年度整理をしていきたいというふうに思いますけれども、そういった施設が中途半端な施設にならないような形では、十分慎重にですね、考えていきたいというふうに思っています。

金田興一委員 ちょっとお伺いしますが、北部地域の拠点ということを盛んに今言われているわけなんですけれども、広丘地区でなくして北部地域というふうに私は捉え方をしているんですが、当然に吉田地区、高出地区、入ると思うんですがね。まずそういうことでよろしいんですか。

まちづくり推進課長 市の北部地域ということで、この広丘駅の生活圏に当たる部分になるかと思えます。おっしゃるとおりで吉田地区、片丘地区、当然広丘地区それから高出地区等が含まれてくると考えております。

金田興一委員 当然そうだろうと思うんですが、そうした中でね、北部地域の拠点とした公共施設あるいは駐車場等、商業等はあれにしる、まず公共施設だとか公の駐車場、こういうものの整備も当然ふえたり、あるいは複合的な施設なんかの整備という形になっているんですが、そうすると、今言われた吉田なり片丘なり高出の地区の皆さんの意見というものはどんな形で反映をするんですか。

まちづくり推進課長 この2年前から広丘地区で広丘の全体について検討しております。その中で、ほぼ広丘拠点という形ですね、ここの整備を詰めてきているんですけれども、当然おっしゃるとおりだと思います。片丘、吉田、高出、当然この北部の皆様方にもですね、使っていただけるような拠点施設というものをひとつ目指しておりますので、そういった地区への御意見等もですね、ある程度整理された段階でですね、地区の住民のほうに入ってですね、地区に入って地区説明会をさせていただき、御意見等をいただきながら進めていきたいということです。

金田興一委員 今のお話、整備された段階、いわゆる計画ができちゃった段階で聞くということなんです。当然その計画のできる前にその3地区にも当然求めるべきだと思うんですけどね。

まちづくり推進課長 そうです。おっしゃるとおりです。

永井泰仁委員 話を聞いていると非常に夢の多いような話ですが、冷静に現実的に考えなきゃならないのは、それぞれの地区の支所プラスね、ここの広丘支所に北部地区としての必要なものを特色づけを2つなり3つ、どうするかというこういう程度だと思うんですよ。それぞれの地区でも支所も立派な支所ができて利用していると。だから、当然広丘の支所の機能プラス北部地区として市民交流センターみたいなすごいをつくってくれなんて、とてもそんなことはできっこないんで、じゃあ北部地区として共通的にですね、施設として拠点に必要なものは何かということ、逆に行政のほうの側の今のプロジェクトチームをつくれれば、何が必要かっていう地元の要望もいろいろは出ておりますが、そういう形の中でそれぞれの地域のほうへ説得するようなものも提案をしないと、単にただ広丘の地区の皆さんの要望つきりじゃまずいもんですから。さりとて敷地的やいろいろ考えても、今の

それぞれの広丘支所の機能プラスそれじゃあ安全・安心のものを重点にするなのか、あるいは北部包括支援センターとかですね、北部にかかわるそういうものをここへ重点的にするなのか、ある程度地元要望もベースにしながら行政としてね、広丘支所にどういうものが必要かということ逆をまた提案をして説明してほしいということ、それから今回の計画を聞いていると広丘地区まちづくりって言や、うんと題目は広いんですけども、実際には今回のこの計画で拾っていくのは、先ほど柴田委員も念押ししたように、広丘駅周辺の12ヘクタールということで、この中で行政がやるとすれば広丘支所とパーク&ライドの駐車場、ハードですね、あとはこの暮らし・安心ゾーンというのは、これは基本的には民活という前提なのか、その辺について説明してください。

まちづくり推進課長 この暮らし・安心ゾーンとして位置づけさせていただいた県道沿線、旧松電跡地の今後の土地の活用方法は、ただいま委員おっしゃったとおりですね、行政が特に手を加えてどうのこうのっていうのはなかなか難しいのかなと。そんな中でやはり民間がですね、そこに参入してきやすいような環境は行政としてつくりあげていきたいというふうに、そんなふうに考えています。

永井泰仁委員 基本的に民間でいろいろ誘導していきたいということでございます。それからあと広義の面で先ほど郷原の街道とかね、いろいろなことも出てますが、今回のこの制度の中でとてもじゃないが全部の要望する事業なんか拾いきれないもんでね、この12ヘクタールを除く部分については、またほかの補助施策の中で、例えば西幹線にしてもね、できるところから少しずつやるとかということで、今回のこの計画はこの12ヘクタールと支所機能の中に北部圏域として必要なものを最小限度ね、含めていくというその辺のところをね、ちょっと明確に説明しないと、なんかえらいしゃば中うんと広くやってもらえるかと思って話を聞いていたらこっさりだっていたようなね、話になりかねないんで、その辺のところを説明する段階で今後明確にね、全体と今回やるのはその中のこの12ヘクタールですよということを明確と、それから広丘支所については普通の支所プラスその北部圏域として必要な特色をね、何と何を出すかという、地元からも要望出ていますけれど、それも踏まえたり、さらに行政としてここへこういうものをセットしたいと、こういうものを、主になる方が逆に示してほしいと、こういうふうに思います。

森川雄三委員 今、永井委員さんがね、おっしゃった12ヘクタールというお話でありますけれども、それは予算の場面もいろいろお話もありましたが、先ほどのお話の中でね、いわゆる広丘地区の本当にメインになるのは何だというふうに考えていくとですね、やっぱりお話あった郷原のあの素晴らしい町並みね、そして短歌館が、あれだけのものもある。先ほどやはりお話があった短歌館へ向かう道が1本上へ行っちゃう。これとそれにぎわいのメインストリートゾーンとどういうつながりになるのかということ。こうやって見ますと、やはりこのゾーンがね、もう1つつくるべきじゃないかと私は思うんですけども。黄色いゾーンでもってつけてね。いわゆる短歌館から郷原街道、この町並みにつながるゾーンをもう1つつくって、要するに三角形なり四角形なりの、1つのそういう広丘周辺をしっかりとした整備事業にすべきじゃないかと。これは予算の関係もあるし、やはりこの広丘をね、どういうふうに活性化させていくかっていうそこら辺から考えていくとね、まず計画としては、私はこれは入れるべきじゃないかと思うんだよね。現在この3つのゾーンで計画をされているんですけども。それは予算の関係もあるし、先ほどのお話じゃ優先道路もあるということの中でね、全てここへ投資をしるというわけではないですけども、絵は描いていくべきじゃあ、私はないかと思えます。その点はいかがですか。

まちづくり推進課長 目標が広丘駅拠点ということでにぎわいをつくっていききたい、人を歩けるまちにしたい

とか、そういった時間を長い間そこで過ごせるまちにしていきたいという目標を立てさせていただきました。そんな中でその関連という形で短歌館、郷原宿の景観、そういったものはやはり広丘地区にとって大きな地域資源でございますので、それはぜひ表に出していきたいということ。この間も地元で説明をした中でも、地域の特徴があまり出ていないじゃないかという意見もありました。当然短歌館、郷原宿がこの重点整備区域から外れている部分もあってそういう意見もあったかというふうには承知していますので、ぜひそういった地域資源はですね、表に出した形で広丘の拠点の特徴が出てくるんじゃないかというふうに思いますので、直接的には整備というにはなかなかどうかと。ただ今回のこの重点の外の整備についても、この重点の中で行う補助事業の関連という形にもできないことはないというふうに思ってますので、その辺も含めてですね、皆さんの御意見どおり、先ほど申し上げましたけれども、計画を当然見据えた形で作成のほうはしていきたいというふうに思います。

森川雄三委員 いずれにしてもね、すぐそれを続けてどんどんどんどんやれっていう場面、時によればその予算によっちゃあちょっと色つけなきゃいけない場面もあるんだけど。計画としてはね、やはりそういう1つの周辺はいずれはこういうふうにもってきたいというようなことはね、やっぱり絵に描いておくべきじゃないかと私は思うがね。となると、先ども皆さんも言っていた短歌館から郷原宿へつながる1つのゾーンを色塗りしておくことによって、広丘周辺の1つの、いずれ計画をしていくんだと、いずれそういう思いがあるんだということも示しておくべきじゃないかと俺は思うだよね。だから、すぐやれとか、これは当然お金もあるんで、すぐやれとかそういうことじゃなく。そうじゃない。そういうふうを示すべきじゃないかと私は思います。

委員長 よろしいですか。ほかにございますかね。いいですかね。

副委員長 短歌のことも1つの広丘の拠点というふうに考えるということなので、既存に、もう既にある短歌に関する場所っていうのも、どの辺にどんなものが点在しているかということも資料として出していただいたほうがいいと思うのが、スカイブリッジの下にも公園ありますし、短歌館のそばにも歌碑公園ありますけれど、あと牛屋とかいろいろ、そういった見るとお客さんにとっていいと思われる場所がどの辺にどう点在しているかというようなことも、また資料で出していただきたいと思います。

中原本年男委員 短歌館の利用者数とこの道をつくることでどのぐらい集客できるかっていう形ね、費用対効果で考えたときに、ここで当然用地を買収しなきゃいけないっていう部分ありますよね。それをやるのに、ちょっともう少し費用対効果を考えてほうがいいかなと思います。答えはいいで。

委員長 ほかにありますか。なければ、1の北部地域の拠点（広丘駅周辺地区）のまちづくりについて、報告を受けたものとして処理をいたします。

2 その他

委員長 2その他、何かありますか。いいですか。

〔「なし」の声あり〕

委員長 それでは、以上をもって市街地活性化特別委員会を終了いたします。大変御苦労さまでした。

午前11時05分 閉会

平成26年1月20日(月)

委員会条例第29条の規定に基づき、次のとおり署名する。

市街地活性化特別委員会委員長 牧野 直樹 印